

表2 平成18年10月1日現在のHIV感染者及びAIDS患者の国籍別、性別、感染経路別報告数の累計<sup>\*1</sup>

診断区分	感染経路	日本国籍			外国国籍			合計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
HIV感染者	異性間の性的接触	1,469	467	1,936	294	707	1,001	1,763	1,174	2,937
	同性間の性的接触 <sup>*2</sup>	3,322	1	3,323	223	0	223	3,545	1	3,546
	静注薬物濫用	18	1	19	20	2	22	38	3	41
	母子感染	13	8	21	4	7	11	17	15	32
	その他 <sup>*3</sup>	88	29	117	26	16	42	114	45	159
	不明	520	65	585	278	493	771	798	558	1,356
	HIV合計	5,430	571	6,001	845	1,225	2,070	6,275	1,796	8,071
AIDS患者	異性間の性的接触	1,171	139	1,310	210	148	358	1,381	287	1,668
	同性間の性的接触 <sup>*2</sup>	1,007	1	1,008	88	2	90	1,095	3	1,098
	静注薬物濫用	11	2	13	17	0	17	28	2	30
	母子感染	9	3	12	1	4	5	10	7	17
	その他 <sup>*3</sup>	65	14	79	16	8	24	81	22	103
	不明	574	57	631	276	126	402	850	183	1,033
	AIDS合計 <sup>*4</sup>	2,837	216	3,053	608	288	896	3,445	504	3,949
凝固因子製剤による感染者 <sup>*5</sup>	1,420	18	1,438	-	-	-	1,420	18	1,438	

\*1 平成17年までは確定値、平成18年は平成18年10月1日現在の速報値である。

\*2 両性間性的接触を含む。

\*3 輸血などに伴う感染例や推定される感染経路が複数ある例を含む。

\*4 平成11年3月31日までの病状変化によるAIDS患者報告数154件を含む。

\*5 「血液凝固異常症全国調査」による2005年5月31日現在の凝固因子製剤による感染者数

#### 死亡者報告数

感染症法施行後の任意報告数(平成11年4月1日～平成18年9月30日)	222名
エイズ予防法 <sup>*6</sup> に基づく法定報告数(平成元年2月17日～平成11年3月31日)	596名
凝固因子製剤による感染者の累積死亡者数 <sup>*7</sup>	592名

\*6 エイズ予防法第5条に基づき、血液凝固因子製剤による感染者を除く。

\*7 「血液凝固異常症全国調査」による2005年5月31日現在の報告数